

平成22年度「まち“夢” 工事部門」第2次選考会の様子

- 日時 平成23年2月19日（土）10時～11時20分
- 会場 名古屋都市センターホール（金山南ビル11階）

受付の開始。発表団体関係者も含めて29名と予想以上の参加があり、賑やかな会場となりました。



9:45 集合

今年は、第2次選考の対象団体が桶狭間町内会のみでの選考会となりました。町内会の皆さんには9時45分に集合していただきました。事務局から提案発表の進め方の説明があり、各団体ともプレゼン用に準備したパワーポイントの確認を行い、スタンバイOKです。これまで半年間準備をしてきた成果が問われるとあって、少し緊張気味でした。



発表のパワーポイントを確認しています

10:00 開会：名古屋都市センター事業部長あいさつ

名古屋都市センターまちづくり相談幹の司会で、第2次選考会が開会しました。はじめに、名古屋都市センター事務局長からあいさつがありました。



- ・本年度までに11団体が、まち“夢”工事を行って夢を実現してきました。子育て、歴史、環境、コミュニティ、自然などさまざまな分野でまちづくりの成果を挙げてきました。
- ・中には、行政の仕組みを変えて実現した例もありました。
- ・日頃の活動の実績やこれからの想いを委員の方に精いっぱいご説明し、「自分たちのまちは自分たちでつくる」ことを実現し、是非、他の団体や地域の見本となってくださいという励ましの言葉がありました。

10:05 選考方法の説明

事務局から公開審査にとって重要な選考方法について、詳細な説明がありました。

10:10 まちづくり基金運用委員会の委員を紹介

第2次選考会に当たっては、申請書を熟読の上、現地を見学し、疑問点を前もって書面で質問、その回答を得て、選考会に臨みました。



選考会を進行するまちづくり相談幹

10:15 応募団体による発表・質疑応答

団体 8 分の持ち時間で、第 1 次選考後の取り組みの成果と、書面での事前質問に対する回答について発表していただいた後、まちづくり基金運用委員との質疑応答が続きました。

タイムキーパーは、発表に際しては時間表示をして、公平な発表を心がけました。

来場者にも提案内容をできるかぎり公表し、会場で資料を配布しました。

【会場で配布した資料】

- 当日のプログラム、選考方法説明資料
- 各団体からの提案内容（申請者名、住所、事業費等除く）

※会場では、チラシ等の配布は禁止です。



パワーポイントで説明する申請者



熱心に発表を聞き、質問をする基金運用委員



質疑応答する申請者

10:40 各委員による投票

質疑を終えると、いよいよ皆さんの前で投票です。

各委員には、「選考にあたって重視する点」①～⑤の 5 項目すべてについて「優（2 点）」「良（1 点）」「可（0 点）」の 3 段階で評価をしていただきました。

<選考にあたって重視する点は以下のとおり>

..... 提案内容の妥当性

①必要性

- ・公益性・公共性のある提案か。
- ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする施設か。
- ・地域の身近な課題やニーズを的確に把握しているか。

②独創性

- ・地域の特性や資源などを活かした個性豊かな提案か。
- ・創意工夫を凝らした提案か。

③実現性

- ・工事計画が具体的になっているか。
- ・費用対効果があるか。
- ・工事する施設の維持管理・運営計画が具体的になっているか。

④発展性

- ・実現後に地域まちづくり活動への波及効果があるか。
- ・他の地域のモデルとなり、よい影響を与えることが期待できるか。

..... **提案団体の能力**

⑤活動実績と主体性

- ・準備助成金を活用した活動により成果があったか。
- ・誰でも参加できるワークショップ、シンポジウム、講演会、ニュースの発行などに主体的に取り組むとともに、その活動を通して地域住民に提案内容が周知され、理解を得ているか。
- ・自ら主体となって工事を行い、施設の維持管理をする能力があるか。
- ・地域住民の労働力が十分活かされているか。

集計は、「選考にあたって重視する点」**5項目の評価を点数化（優：2点、良：1点、可：0点）**して**委員の平均点**を算出しました。

例えば、以下の〇〇〇団体の例では、委員5人の平均点は、9.6点となります。

<〇〇〇団体の計算例>

- ①活動実績と主体性 「優」5票
- ②必要性 「優」4票 「良」1票
- ③独創性 「優」5票
- ④実現性 「優」5票
- ⑤発展性 「優」4票 「良」1票

(「優」23票×2点 + 「良」2票×1点 + 「可」0票×0点) ÷ 5人 = 9.6点

10:40 休憩

休憩時に、平成21年度に行われたまち夢工事の内容をDVD放映しました。



11:10 投票の結果公表、採用団体の発表

副委員長が助成団体を発表！

各委員採点の平均点が8.0点（満10点の8割獲得）以上の団体を採用すると選考方法で発表していましたので、採点の結果、桶狭間町内会が**9点を獲得し採用**となりました。

最後に、**委員長から講評**がありました。



半年の成果が報われるか緊張の発表の瞬間
採択団体へは花がつけられ祝福されました



講評する福島委員長

【委員長の講評】

私ども基金運用委員会は、第1次選考以降の活動報告や今日の提案発表を見聞きさせてもらい、桶狭間地区の公民館の改修計画に大勢の住民が参画して取り組んでみえることに感心しました。地域に幅広く声かけをし、皆さんで議論し、近くのコミュニティセンターを調査し、住民アンケート調査を行い、使いやすく愛着が湧く公民館を作っていくためにはどうすればよいかということに勉強されてきたことがよくわかりました。本日の発表は、公民館を使いやすいものにしていきたいという、地域の皆さんの意気込みや気持ちが、非常に伝わる発表でした。

今回の提案は、端的に言えば、公民館のトイレと台所の改修でしかありません。しかし、私達が評価したのは、その背後にあるものと今後の発展性です。皆様が、かつて幼稚園として建築され、間もなく公民館に転用されて長らく利用してきた建物への愛着、年間延べ25000人の方が利用されている実績、公民館をさらに利用しやすいものとし、今後もコミュニティ作りの拠点として使っていきたいという思いを高く評価しました。投票の結果は、10点満点の9点ということで非常に高いものです。事業そのものがトイレと台所の改修であるため、独創性という点でやや減点がありましたが、それ以外の項目では、ほぼ満点に近い評価でした。

お披露目の機会には、綺麗なトイレと台所だけではなく、できれば皆さんで少しペンキがはがれた所を塗っていただいたりして、より綺麗な状態にしてもらい、これを機会にさらに公民館を大切に使っていただければと思います。この改修事業を契機に、公民館活動も含めて自分たちの公民館づくりに、積極的かつ発展的に取り組んでいただければ幸いです。これまでの準備でご苦労されてきた皆さま方の熱心な討議、参画に敬意を表し、私の講評とさせていただきます。

<以上、委員長の講評を事務局がまとめました。>

11:20 閉会

閉会后、点数表の周りに集まって点数を確認したり、申請者と委員の方が互いに労をねぎらう姿が見られました。



合格を喜び合う皆さん